

## 「伝統と文化」を軸にした学習【実践事例】

○ 第3学年 総合的な学習の時間 単元名「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」単元計画及び学習指導略案

### ◇本単元設定の理由

昔話は数多くあるが、「浦島太郎」や「一寸法師」が、京都にゆかりのある昔話であることを知っている子どもは少ないのではないだろうか。

また、「おおきに（ありがとう）」「きばる（努力する）」「～はる（～なさる）」「おいでやす（いらっしやいませ）」「おはようさん（おはようございます）」などの「京ことば」についても、聞いたことはあるけれど、どのような意味なのかまでは知らない、何となく使っていたという子どももいるのではないかと考える。

そこで、子どもたちが「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について体感したことを他学年の子どもたちに発信することを通して、京都にゆかりのある「言語文化」を大切にすることを大切にする態度をもつことができることを考え、本単元を構想した。

### ◇本単元の目標

「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について体感したことを、他学年に発信することを通して、「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」に対する理解や考えを深める。

### ◇本単元で育てようとする資質や能力及び態度

#### 【学習方法に関すること】

- ・手段を選択し、情報を収集する。
- ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。

#### 【自分自身に関すること】

- ・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。

#### 【他者や社会との関わりに関すること】

- ・他者や社会とのつながりを受けとめたり、他者と協同して取り組んだりする。

### ◇本単元の評価規準

#### 【関心・意欲・態度】

- 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について関心をもち、自ら追究していく課題を決定している。
- 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について学んだことから、京都や地域の一員としての自覚をもつとともに、京都にゆかりのある「言語文化」を大切にしようとしている。

#### 【思考・判断・表現】

- 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について体感したこと（本単元では特に、きいたり、読んだり、触れたり、感じたり、親しんだりしたこと）を分かりやすく表現している。

#### 【技能】

- 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について、読み聞かせを聞いたり自分で読んだり、図書資料を活用したり、聞き取り調査したりして、必要な情報を集めている。

#### 【知識・理解】

- 京都にゆかりのある「言語文化」に触れ、話のおもしろさや独特の語り口調、言い回しなどに気付き、親しんでいる。

◇本単元の展開（全 20 時間）

時	学習活動（◇）と子どもの反応（・）	必要な教材など（◆） 「伝統と文化」に関わって必ず提示する教材（㊤）	支援（*）留意点（○） <b>評価</b> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊤及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 ・ 2	<p>◇「古典の日記念 京都市平安京創生館」の「平安京創生館『探検マップ』」の「まんがで古典に親しむコーナー」を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まんがで古典に親しむコーナー」の「源氏物語」と「枕草子」はどのようなお話なのだろう。</li> <li>・読んでみたいな。</li> <li>・「枕草子」の「春はあけぼの」は、「春は明け方がよい。」という意味なのだね。</li> <li>・「源氏物語」の「ありけり」は「あった」という意味なのだね。</li> <li>・難しいなあ。</li> <li>・「源氏物語」と「枕草子」は、平安時代のお話（昔のお話）なのだね。</li> </ul> <p>◇知っている昔話について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「桃太郎」を知っているよ。</li> <li>・「浦島太郎」を知っているよ。</li> <li>・「一寸法師」を知っているよ。</li> <li>・「おむすびころりん」を知っているよ。1年生のときに勉強したね。</li> <li>・京都に関係のある昔話があるのだね。</li> <li>・どんな昔話なのかな。</li> <li>・先生が読んでいる昔話は、「一寸法師」だ。</li> <li>・ぼくは「一寸法師」をじっくりと読んでみたいです。</li> <li>・「キツネ坂」は、本当にある坂のことなのかな。</li> <li>・わたしは「一休さんのとんち」を読んでみたいです。</li> <li>・「おさるのしりはなぜあかい」はどのようなお話なのだろう。</li> <li>・早く読んでみたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊤「学習に活用できる『平安京創生館』</li> <li>㊤「枕草子」「源氏物語」</li> </ul> <p>◆ 第1学年国語科「むかしばなしがいっぱい」の挿絵</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>㊤京都にゆかりのある昔話 ⇒ 「一寸法師」「木列坂（キツネ坂）」「かえるをのみこんだ」ととさん」「一休さんのとんち」「おさるのしりはなぜあかい」</li> </ul>	<p>㊤「<b>古典の日記念 京都市平安京創生館</b>」の「<b>平安京創生館『探検マップ』</b>」を用いることで、「<b>枕草子</b>」と「<b>源氏物語</b>」に関心を持ち、それらが<b>平安時代のお話であることに気付くことができるようにする。</b></p> <p>㊤「<b>一寸法師</b>」という題名を明かさず、<b>京都にゆかりのある昔話と伝えるだけで読み聞かせを行うことで、「一寸法師」と京都の関係に関心をもつことができるようにする。更に、他の昔話の題名を紹介することで、京都にゆかりのある昔話を読んでみたいという、意欲をもつことができるようにする。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【<b>関心・意欲・態度</b>】 「源氏物語」「枕草子」「一寸法師」の読み聞かせから、昔話に関心を持ち、読もうとしている。 (行動観察)</p> </div>

<p>3 4 5</p>	<p>◇京都にゆかりのある昔話を読み、お気に入りの作品を選び、おもしろかったところや気になった言葉について交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一寸法師」は、うちでの小槌のおかげで立派な若者になれて嬉しかったらうなと思います。</li> <li>・「木列坂 (キツネ坂)」を読んで、およしさんが仕事も家族も大切にする気持ちがきつね坂のキツネに伝わったのだと思いました。</li> <li>・「かえるをのみこんだ」ととさん」を読んで、「鬼は外」の意味がわかりました。ととさんが何でものみこむところがおもしろかったです。</li> <li>・「一休さんのとんち」を読んで、おしょうさんに叱られずにあめを食べる方法を考えた一休さんはすごいと思いました。</li> <li>・「おさるのしりはなぜあかい」を読んで、たしかにおさるのおしりはあかいなと思ったことがあったけれど、その理由がわかったので、おもしろかったです。</li> <li>・「それなら」を「ほんなら」と言ったり、「ごちそう」を「ごっそう」と言ったりして、おもしろいなと思いました。</li> <li>・「京ことば」というのだね。</li> </ul>	<p>㊦京都にゆかりのある昔話 ⇒「一寸法師」 「木列坂 (キツネ坂)」 「かえるをのみこんだ」ととさん」 「一休さんのとんち」 「おさるのしりはなぜあかい」</p> <p>㊦ワークシート「京都の昔話を読んで」</p>	<p>*京都にゆかりのある昔話を読んで、おもしろかったところや気になった言葉を「ワークシート『京都の昔話を読んで』」に記録する。</p> <div data-bbox="1093 504 1441 728" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【技能】</b> 「京都にゆかりのある昔話」について、読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして、必要な情報を集めている。 (ワークシート)</p> </div> <div data-bbox="1093 772 1441 974" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【知識・理解】</b> 「京都にゆかりのある昔話」を読み、そのおもしろさや独特の語り口調、言い回しなどに気付いている。 (行動観察・ワークシート)</p> </div>
<p>6</p>	<p>◇「京ことば」の意味を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはようおかえりやす」の意味は、「早く帰ってきてね。」かな。</li> <li>・「おはようおかえりやす」は、「いってらっしゃい」という意味なのだね。</li> <li>・「かいらしい」は、「かわいらしい」という意味なのだね。</li> <li>・「せんど」の意味は、「何度も」なのだね。</li> <li>・「たく」は「煮る」で合っていた。</li> <li>・「ちびっと」の意味は、「ちょっと」なのだね。</li> <li>・「京ことば」はやさしい感じがするね。</li> <li>・「京ことば」は上品な感じがするね。</li> <li>・「京ことば」について調べてみたいな。</li> </ul>	<p>㊦「京ことば」の事例 ⇒「おはようおかえりやす (いってらっしゃい)」 「かいらしい (かわいらしい)」 「せんど (何度も)」 「たく (煮る)」 「ちびっと (ちょっと)」 などを提示する。</p>	<p>㊦『京ことば』〇×クイズを行うことで、それぞれの「京ことば」の意味を考えたり、「京ことば」についての興味や関心をもったりすることができるようにする。</p> <div data-bbox="1093 1848 1441 1993" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> 「京ことば」に関心をもとうとしている。 (行動観察・ワークシート)</p> </div>

<p>7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13 ・ 14 ・ 15</p>	<p>◇「京都にゆかりのある昔話」を見つけて読んだり、「京ことば」を調べたり集めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようにして「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」を集めると良いかな。</li> <li>・図書室に「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」の本があるかもしれないよ。</li> <li>・コンピュータを使ったり、人に尋ねたりしても良いかもしれないね。</li> <li>・「浦島太郎」「牛若と弁慶」も「京都にゆかりのある昔話」なのだね。</li> <li>・「京ことば」では、わたしのことを「あて」ということがわかったよ。「うち」もわたしを意味する「京ことば」だね。</li> <li>・「ぐるぐる」は、つむじのことだと知ったよ。おもしろいね。</li> <li>・友だちを「おつれさん」というのだね。</li> </ul>	<p>㊦ワークシート「京都の昔話を読んで」</p> <p>㊦ワークシート『『京ことば』カード』</p>	<p>○ワークシート「京都にゆかりのある昔話を読んで」『『京ことば』カード』をもとに、必要な情報を集める。</p> <div data-bbox="1093 403 1436 672" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【技能】</b> 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について、図書資料を活用したり、聞き取り調査したりして、必要な情報を集めている。 (ワークシート)</p> </div> <div data-bbox="1093 683 1436 884" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【知識・理解】</b> 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」のおもしろさや独特の語り口調、言い回しなどに気付いている。 (ワークシート)</p> </div>
<p>16 ・ 17 ・ 18 ・ 19</p>	<p>◇「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について学んだことや日常生活で実際に使っている「京ことば」があるといった気付きを、どのように広めるのかを考え表現し、発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おススメの『京都にゆかりのある昔話』」として、まとめて伝えることができます。</li> <li>・お気に入りの「京都にゆかりのある昔話」の本の帯をつくって、「京都にゆかりのある昔話」のおもしろさを紹介したら良いと思います。</li> <li>・「京ことば」を使ったポスターをつくったら、見る人の印象に残ると思います。</li> <li>・『『京ことば』集』として、まとめたら、たくさんの人に広まると思います。</li> <li>・「京ことば」を使った短歌をつくって掲示したら、広まると思います。</li> </ul>	<p>◆アンケート用紙と回収ボックス</p>	<p>○校内（他学年に向けて）及び地域の方に伝え広げるための発信方法について目的意識をもって考えるようにする。</p> <p>○第 18・19 時を発信（交流）の時間とする。（アンケート実施）</p> <div data-bbox="1093 1556 1436 1892" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について体感したこと（本単元では特に、きいたり、読んだり、触れたり、感じたり、親しんだりしたこと）をどのように発信するのかを考え、分かりやすく表現している。 (発言・行動観察・表現物)</p> </div>

20	<p>◇「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について学んだことについて振り返る。</p> <p>・わたしは「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について学習して、今まで、京都で生活してきたけれど、知らないことがたくさんあることに気付きました。おすすめの「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」を家族にも伝えたいと思っています。</p>	<p>㊦ワークシート『『京都にゆかりのある昔話』と『京ことば』ふり返りシート』</p>	<p>○アンケートの内容も振り返りの材料とする。</p> <div data-bbox="1086 257 1450 571" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【関心・意欲・態度】</b>  「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について学んだことから、京都や地域の一員としての自覚をもつとともに、京都にゆかりのある「言語文化」を大切にしようとしている。  （「京都にゆかりのある昔話」と「京ことば」ふり返りシート）</p> </div>
----	--	---	--

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」
- 3 単元の目標 ・「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」をきいたり、読んだり、自ら探したり、校内や地域に向けて発信したりすることを通して、京都や地域に対する親しみと愛着を高める。
- 4 本時の目標 「源氏物語」「枕草子」「一寸法師」の読み聞かせから、昔話に関心をもつことができる。
- 5 本時の展開 1・2 / 20 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊟及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 「平安京創生館『探検マップ』の「まんがで古典に親しむコーナー」を見る。  2 「枕草子『春はあけぼの』」と「源氏物語『桐壺』」にふれる。	◇「まんがで古典に親しむコーナー」の「源氏物語」と「枕草子」はどのようなお話か知っていますか。 ・「平安京創生館『探検マップ』」を校内で見たことがあるよ。 ・「源氏物語」も「枕草子」もきいたことはあるけれど、内容は知らないです。 ・どのようなお話なのだろう。  ・「枕草子」の「春はあけぼの」は、「春は明け方がよい。」という意味なのだね。 ・「源氏物語」の「ありけり」は「あった」という意味なのだね。難しいなあ。 ・「源氏物語」と「枕草子」は、平安時代のお話(昔のお話)なのだね。	㊟「学習に活用できる『平安京創生館』」 ㊟社会科副読本わたしたちの京都「京都の地図帳」  ㊟「枕草子『春はあけぼの』」 ㊟「源氏物語『桐壺』」	㊟「 <b>古典の日記念 京都市平安京創生館</b> 」の「 <b>平安京創生館『探検マップ』</b> 」を用いることで、「 <b>枕草子</b> 」と「 <b>源氏物語</b> 」に関心を持ち、 <b>それらが平安時代のお話であることに気付くことができるようにする。</b> ○社会科副読本わたしたちの京都「京都の地図帳」で京都アスニーの位置を確かめる。  ○「枕草子『春はあけぼの』」「源氏物語『桐壺』」を教材として提示する。

<p>3 知っている日本の昔話について話し合う。</p>	<p>◇みなさんが知っている日本の昔話は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「桃太郎」を知っているよ。</li> <li>・「浦島太郎」を知っているよ。</li> <li>・「一寸法師」を知っているよ。</li> <li>・「おむすびころりん」を知っているよ。1年生のときに勉強したね。</li> </ul>	<p>◆第1学年国語科「むかしばなしがいっぱい」の挿絵</p>	<p>○このときに単元名を伝える。</p> <p>○第1学年国語科「むかしばなしがいっぱい」の挿絵を用いることで、既習事項や生活経験を想起することができるようにする。</p>
<p>4 京都にゆかりのある昔話があることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都にゆかりのある昔話があるのだね。</li> <li>・どんな昔話なのかな。</li> <li>・先生が読んでいる昔話は、「一寸法師」だ。</li> <li>・ぼくは「一寸法師」をじっくりと読んでみたいです。</li> <li>・「キツネ坂」は、本当にある坂のことなのかな。</li> <li>・わたしは「一休さんのとんち」を読みたいです。</li> <li>・「おさるのしりはなぜあかい」はどのようなお話なのだろう。</li> </ul>	<p>㊦京都にゆかりのある昔話（揭示物）</p> <p>⇒「一寸法師」</p> <p>「木列坂（キツネ坂）」</p> <p>「かえるをのみこんだととさん」</p> <p>「一休さんのとんち」</p> <p>「おさるのしりはなぜあかい」</p>	<p>㊦「一寸法師」という題名を明かさず、京都にゆかりのある昔話と伝えるだけで読み聞かせを行うことで、「一寸法師」と京都の関係に関心をもつことができるようにする。更に、他の昔話の題名を紹介することで、京都にゆかりのある昔話を読みたいという、意欲をもつことができるようにする。</p>
<p>5 次時からの「学習のめあて」を知る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>京都にゆかりのある昔話を読み、お気に入りの昔話を見つけよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く読んでみたいな。</li> <li>・5つの昔話を読んだら、他の京都にゆかりのある昔話も見つきたいな。</li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>「源氏物語」「枕草子」「一寸法師」の読み聞かせから、昔話に関心をもち、読もうとしている。</p> <p>(行動観察)</p> </div>

社会科副読本わたしたちの京都

「京都の地図帳」

『平安京創生館』の場所は…

平安京創生館『探検マップ』

枕草子

むずかしいなあ

源氏物語

○みなさんが知っている日本の昔話は何ですか。

日本の昔話

きんたろう

ももたろう

うらしまたろう

おむすびころりん

いっすんぼうし

☆京都の昔話がある。

\*この学習で読んでいく昔話

「一寸法師」

「きつね坂（キツネ坂）」

「かえるをのみこんだととさん」

「一休さんのおとこ」

「おさるのしりはなぜあかい」

京都にゆかりのある昔話を読み、お気に入りの昔話を見つけよう。



- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」
- 3 単元の目標 ・「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」をきいたり、読んだり、自ら探したり、校内や地域に向けて発信したりすることを通して、京都や地域に対する親しみと愛着を高める。
- 4 本時の目標 京都にゆかりのある昔話を読み、お気に入りの作品を選び、おもしろかったところや気になった言葉を見つけることができる。
- 5 本時の展開 3・4・5 / 20 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊟及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 本時の「学習のめあて」を確かめる。	◇今日の学習のめあては何でしたか。 ・「京都にゆかりのある昔話を読み、お気に入りの昔話を見つけよう。」です。 ◇読んでみたい昔話は決まっていますか。 ・決まっています。前の時間に読み聞かせできた「一寸法師」を自分でじっくりと読みたいです。 ・わたしも決まっています。「きつね坂 (キツネ坂)」を読んでみたいです。 ・ぼくは「かえるをのみこんだととさん」を読んでみたいです。 ・わたしは「一休さんのとんち」を読みたいです。どんなとんちが出てくるのか楽しみです。 ・わたしは「おさるのしりはなぜあかい」	◆「学習のめあて」掲示物	

<p>2 京都にゆかりのある昔話を読み、おもしろかったところや気になった言葉を記録する。</p>	<p>を讀みたいです。おさるのおしりが赤いわけを知ることができるからです。</p> <p>□京都にゆかりのある昔話を讀み、おもしろかったところや気になった言葉をワークシート「京都にゆかりのある昔話を讀んで」に記録していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一寸法師」の背が大きくなったのは、うちでの小づちのおかげだった。</li> <li>・「思わはる」「～やて」とか、わたしたちも使ったり聞いたりしている言葉が出てくる。「ほれから」という言葉の意味は、それからかな。</li> <li>・「きつれ坂（キツネ坂）」には松ヶ崎や岩倉といった地名が出てくる。その地名は今も使われている。</li> <li>・「きつれ坂（キツネ坂）」には「きやはった」「おはようさん」といった言葉が出てくるね。</li> <li>・「かえるをのみこんだととさん」は、ととさんに対するかかさんとおしょうさんの言葉がおもしろい。</li> <li>・「ええです」という言葉の意味は、「いいです」かな。</li> <li>・「一休さんのとんち」は、『黒とかげのだらすけ』を食べるための一休さんのちえがすごいと思う。</li> </ul>	<p>㊤京都にゆかりのある昔話</p> <p>⇒「一寸法師」</p> <p>「木列坂（キツネ坂）」</p> <p>「かえるをのみこんだととさん」</p> <p>「一休さんのとんち」</p> <p>「おさるのしりはなぜあかい」</p> <p>㊦ワークシート「京都にゆかりのある昔話を讀んで」</p>	<p>○京都にゆかりのある昔話を讀んで、おもしろかったところや気になった言葉を「ワークシート『京都の昔話を讀んで』」に記録する。</p> <div data-bbox="1467 1141 2116 1340" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;"><b>【技能】</b></p> <p>「京都にゆかりのある昔話」について、読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして、必要な情報を集めている。（ワークシート）</p> </div>
--	---	--	--

<p>3. 京都にゆかりのある昔話を読み、おもしろかったところや気になった言葉について記録したことを交流し、お気に入りの昔話を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一休さんのとんち」には、「きかはった」や「いはらへん」といった言葉がある。</li> <li>・「おさるのしりはなぜあかい」を読むと、おさるのおしりが赤い理由がわかる。</li> <li>・まっかのことを「まっかいけ」と書いてある。</li> </ul> <p>□京都にゆかりのある昔話を読み、おもしろかったところや気になった言葉について、記録したことを交流し、お気に入りの昔話を見つけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一寸法師」は、うちでの小槌のおかげで立派な若者になれて嬉しかっただろうなと思います。ぼくのお気に入りの、「一寸法師」です。</li> <li>・「木列坂（キツネ坂）」には、松ヶ崎や岩倉といった地名が出てきます。その地名は今も使われているので、わたしのお気に入りの昔話です。</li> <li>・「かえるをのみこんだととさん」を読んで、「鬼は外」の意味がわかりました。ととさんが何でものみこむところがおもしろかったです。わたしのお気に入りの「かえるをのみこんだととさん」です。</li> <li>・「一休さんのとんち」を読んで、おしょうさんに叱られずにあめを食べる方法を考えた</li> </ul>	<p>㊤ワークシート「京都にゆかりのある昔話を読んで」</p>	<p>○交流の際には、まずそれぞれの昔話で「おもしろかったところ」、次に「気になった言葉」といった順で交流する。</p>
--	---	---------------------------------	--

一休さんはすごいと思いました。だから、ぼくのお気に入りには、「一休さんのとんち」です。

- ・「おさるのしりはなぜあかい」を読んで、おさるのおしりはあかいなと思ったことがあったけれど、その理由がわかったので、おもしろかったです。「おさるのしりはなぜあかい」がわたしのお気に入りです。
- ・「思わはる」「～やて」「きやはった」「おはようさん」「きかはった」「いはらへん」といったように、わたしたちも使ったり聞いたりしている言葉が出てきたね。
- ・「それなら」を「ほんなら」と言ったり、「ごちそう」を「ごっそう」と言ったりして、おもしろいなと思いました。
- ・「京ことば」というのだね。

**【知識・理解】**

京都にゆかりのある昔話を読み、そのおもしろさや独特の語り口調、言い回しなどに気付いている。

(行動観察・ワークシート)

月 日 時間目

京都にゆかりのある昔話を読み、お気に入りの昔話を見つけよう。

おもしろかったところ

気になった言葉

「一寸法師」

「一寸法師」は、うちでの小槌のおかげで立派な若者になれて嬉しかっただろうな。

「きつね坂 (キツネ坂)」

松ヶ崎や岩倉といった地名が出てくる。その地名は今も使われている。

「かえるをのみこんだ」ととさん

ととさんに対するかかさんとおしようさんの言葉がおもしろい。

「一休さんのとんち」

『黒とかげのだらすけ』を食べるための一休さんのちえがすごい。

「おさるのしりはなぜあかい」

おさるのおしりはあかいなと思ったことがあったけれど、その理由がわかった。

・「思わはる」「くやて」とか、わたしたちも使ったり聞いたりしている。

・「ほれから」という言葉の意味はそれからかな。

・「きやはった」「おはようさん」といった言葉が出てくる。

・「ええです」という言葉の意味は、「いいです」かな。

・「きかはった」や「いはらへん」といった言葉も出てくる。

・まっかのことを「まっかいけ」と書いてある。

「京」や「和」というのだね。

くわしく知りたい。

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」
- 3 単元の目標 ・「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」をきいたり、読んだり、自ら探したり、校内や地域に向けて発信したりすることを通して、京都や地域に対する親しみと愛着を高める。
- 4 本時の目標 「京ことば」に関心をもつことができる。
- 5 本時の展開 6 / 20 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊟及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 前時の学習を振り返る。  2 本時の学習のめあてを知る。	◇前の時間に、「かいらしい」「ほして」「ええ」「あて」「どこぞ」などの言葉がでてきましたが、何言葉だったか覚えていますか。 ・「京ことば」です。  「京ことば」の意味を考えよう。 □『京ことば』〇×クイズを通して、「京ことば」の意味について考えましょう。 ・「おはようおかえりやす」の意味は、「いってらっしゃい」ではなく、「早く帰ってきてください。」という意味だと思うよ。 ・「かいらしい」は「一寸法師」を読んだときにも出てきた言葉だね。「かいらしい」の意味は「買いなさい」ではなく、「かわいらしい」だと思います。	㊟ワークシート『京ことば』の意味を考えよう。 ㊟「京ことば」の事例 ⇒「おはようおかえりやす (いってらっしゃい)」「かいらしい (かわいらしい)」「せんど (何度も)」「たく (煮る)」「ちびっと (ちょっと)」などを提示する。	○前時の学習を振り返る際には、側面掲示を根拠に振り返る。  ㊟『京ことば』〇×クイズを行うことで、それぞれの「京ことば」の意味を考えたり、「京ことば」についての興味や関心をもったりすることができるようにする。 ○クイズは〇×形式にしたものを提示する。また、×だと判断した場合は、○だと思いう意味も考えるように指示する。 ○個の学びの後、二人組あるいは三人組のグループでどのように考えたのかを確認し合う『京ことば』の意味を行うようにする。

<p>3 「京ことば」の意味を確かめる。</p> <p>4 学習の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「せんど」は「しんせん」で合っていると思います。食べ物の鮮度が良いと言うことがあるからです。</li> <li>・「たく」の意味は「煮る」で合っていると思います。親が「おいものたいたん」と言っていたことがあるからです。</li> <li>・「ちびっと」の意味は「ちょっと」で合っていると思います。お菓子を「ちびっと」ちょうだいと文章にしたときにも当てはまるからです。</li> </ul> <p>□「京ことば」の意味を確かめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはようおかえりやす」は、「いってらっしゃい」という意味なのだね。</li> <li>・「かいらしい」は、「かわいらしい」という意味なのだね。</li> <li>・「せんど」の意味は、「何度も」なのだね。</li> <li>・「たく」は「煮る」で合っていたね。</li> <li>・「ちびっと」の意味は、「ちょっと」なのだね。</li> </ul> <p>◇学習をして「そうだったのか」と気づいたことは、どのようなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは生まれてからずっと京都に住んでいるけれど「京ことば」についてあまり知らないなと感じた。「せんど」の意味を知ることができてよかったです。</li> </ul>	<p>◎「『京ことば』〇×クイズ」板書用</p> <p>◆振り返り用のワークシート</p>	<p>○「『ちびっと』の意味は『ちょっと』で合っていると思います。お菓子を『ちびっと』ちょうだいと文章にしたときにも当てはまるからです。」といったように具体的に話しているグループの姿が見られた時には、クラス全体に伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>「京ことば」に関心をもとうとしている。</p> <p>(行動観察・ワークシート)</p> </div>
---	---	---	--

6 板書計画

月 日 時間目

「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」

「京ことば」の意味を考えよう。

「おはようおかえりやす」  
この「京ことば」の意味は、  
「いつてらっしゃい」である。  
○か×か。

いつてらっしゃい

「かわいらしい」  
この「京ことば」の意味は、  
「買いなさん」である。  
○か×か。

かわいらしい

「せんどう」  
この「京ことば」の意味は、  
「しんせん」である。  
○か×か。

なんども

「たく」  
この「京ことば」の意味は、  
「煮る」である。  
○か×か。

煮る

「ちびつと」  
この「京ことば」の意味は、  
「ちよつと」である。  
○か×か。

ちよつと



- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」
- 3 単元の目標 ・「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」をきいたり、読んだり、自ら探したり、校内や地域に向けて発信したりすることを通して、京都や地域に対する親しみと愛着を高める。
- 4 本時の目標 「京都にゆかりのある昔話」を見つけて読んだり、「京ことば」を調べたり集めたりすることができる。
- 5 本時の展開 7・8・9・10・11・12・13・14・15/20 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊦)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊦及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 学習の見通しをもつ。	◇「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」のことを誰かに伝えるとしたら、誰に伝えることができそうですか。 ・家族に伝えることができると思います。 ・○年生や◇年生に伝えることもできると思います。 ・西陣織の学習でお世話になった方に伝えることもできると思います。 ◇「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」のこと伝えるために、どのようなことができそうですか。 ・「一寸法師」「木列坂 (キツネ坂)」「かえるをのみこんだととさん」「一休さんのとんち」「おさるのしりはなぜあかい」以外に、「京都にゆかりのある昔話」には、ど		

<p>2 学習のめあてを知り、情報を収集する。</p>	<p>のようなものがあるのかを知らなくてはいけないと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「京ことば」には、どのようなものがあるかや、その意味について調べなくてはいけないと思います。</li> </ul> <div data-bbox="331 405 884 568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「京都や地域で伝え続けたい話やことば」を発信するために、「京都にゆかりのある昔話」を見つけて読んだり、「京ことば」を調べたり集めたりしよう。</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 「京都や地域で伝え続けたい話やことば」を発信するために、「京都にゆかりのある昔話」を見つけて読んだり、「京ことば」を調べたり集めたりしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようにして「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」を集めると良いかな。</li> <li>・図書室に「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」の本があるかもしれないよ。</li> <li>・コンピュータを使ったり、人に尋ねたりしても良いかもしれないよ。</li> <li>・「浦島太郎」「牛若と弁慶」も「京都にゆかりのある昔話」であることがわかった。</li> <li>・「京ことば」では、わたしのことを「あて」ということがわかったよ。「うち」もわたしを意味する「京ことば」だよ。</li> <li>・「ぐるぐる」は、つむじのことだと知ったよ。おもしろいね。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の収集の行っていく前に、「京都にゆかりのある昔話」「京ことば」のどちらについて追究していくのかを決める。</li> <li>○ワークシート「京都にゆかりのある昔話を読んで『京ことば』カード」をもとに、必要な情報を集めるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="1464 699 2112 943" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【技能】</b></p> <p>「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について、図書資料を活用したり、聞き取り調査したりして、必要な情報を集めている。</p> <p style="text-align: center;">(ワークシート)</p> </div> <div data-bbox="1464 991 2112 1190" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【知識・理解】</b></p> <p>「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」のおもしろさや独特の語り口調、言い回しなどに気付いている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報を集めてどのようなことがわかったのかを交流する時間を保障するとともに、進捗状況を確認する。</li> </ul>
-----------------------------	--	--	--

月 日 時間目

「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」

「京都や地域で伝え続けたい話やことば」を発信するために、「京都にゆかりのある昔話」を見つけて読んだり、「京ことば」を調べたり集めたりしよう。

◇必要な情報を集める方法

- ・ 図書室で「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について調べる。
- ・ コンピュータを使ったり、人に尋ねたりして情報を集める。



◇情報を集めてわかったこと

- ・ 「浦島太郎」「牛若と弁慶」も「京都にゆかりのある昔話」である。
- ・ 「京ことば」では、わたしのことを「あて」という。
- ・ 「うち」もわたしを意味する「京ことば」だね。
- ・ 「ぐるぐる」は、つむじのことだと知った。おもしろい。
- ・ 友だちを「おつれさん」という。

・  
・  
・

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」
- 3 単元の目標 ・「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」をきいたり、読んだり、自ら探したり、校内や地域に向けて発信したりすることを通して、京都や地域に対する親しみと愛着を高める。
- 4 本時の目標 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について学んだことや日常生活で実際に使っている「京ことば」があるといった気付きを、どのように広めるのかを考え表現し、発信することができる。
- 5 本時の展開 16・17・18・19/20 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊟及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 集めた情報をどのようにまとめ、発信するのかを考える。	◇「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について集めた情報を、どのようにまとめ、発信すると良いでしょう。 ・「おすすめの『京都にゆかりのある昔話』」として、まとめて伝えることができますと思います。 ・お気に入りの「京都にゆかりのある昔話」の本の帯をつくって、「京都にゆかりのある昔話」のおもしろさを紹介したら良いと思います。 ・「京ことば」を使ったポスターをつくったら、見る人の印象に残ると思います。 ・『京ことば』集」として、まとめたら、たくさんの人に広まると思います。		㊟ <b>校内（他学年に向けて）及び地域の方に伝え広げ</b> <b>ることを知ることで、発信する方法について目的意識をもって考えることができるようにする。</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p> <p>「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について体感したこと（本単元では特に、きいたり、読んだり、触れたり、感じたり、親しんだりしたこと）をどのように発信するのかを考え、分かりやすく表現している。</p> <p style="text-align: center;">（発言・行動観察・表現物）</p> </div>

2 校内や地域に向けて発信する。	・「京ことば」を使った短歌をつくって掲示したら、広まると思います。	◆アンケート用紙と回収ボックス	○第 18・19 時を発信の時間とする。(アンケート実施)
------------------	-----------------------------------	-----------------	-------------------------------

6 板書計画

月 日 時間目  
 「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」

「京都や地域で伝え続けたい話やことば」を発信するために、「京都にゆかりのある昔話」を見つけて読んだり、「京ことば」を調べたり

◇どのようにまとめ、発信すると良いだろう。

「京都にゆかりのある昔話」  
 ・「おすすめの『京都にゆかりのある昔話』』として、まとめて伝えることができる。  
 ・お気に入りの「京都にゆかりのある昔話」の本の帯をつくって、「京都にゆかりのある昔話」のおもしろさを紹介する。  
 ・  
 ・

「京ことば」  
 ・「京ことば」を使ったポスターをつくったら、見る人の印象に残る。  
 ・『京ことば』集』として、まとめたら、たくさんの人に広まる。  
 ・「京ことば」を使った短歌をつくって掲示して広める。  
 ・  
 ・

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○校時
- 2 単元名 「京都や地域で伝え続けたい話やことば」
- 3 単元の目標 ・「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」をきいたり、読んだり、自ら探したり、校内や地域に向けて発信したりすることを通して、京都や地域に対する親しみと愛着を高める。
- 4 本時の目標 「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」について学んだことや新たな発見ができるようにする。
- 5 本時の展開 20/20 時間

学習活動	主な発問 (◇) 主な指示 (□) 予想される児童の反応 (・) 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など (◆) 伝統と文化に関わって必ず提示する資料 (㊟)	支援 (*) 留意点 (○) <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか、その支援については、㊟及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 学習したことを振り返るとともに、再発見したことを表出する。	◇学習してきたことを振り返り、まとめましょう。 「京都や地域で伝え続けたい話や言葉」について発信したり、振り返ったりして、再発見したことは何だろう。 ・ぼくは、浦島太郎や一寸法師などが、「京都にゆかりのある昔話」であることを知れてよかったです。この学習をするまでは、意識していなかったからです。 ・わたしは自分のことを「うち」と言うことがありました。同じ意味の「京ことば」に「あて」もあり、「京ことば」っておもしろいな、と思いました。普段、何気なく使っている「京ことば」について、これからも調べていきたいです。	㊟ワークシート『『京都にゆかりのある昔話』と『京ことば』ふり返しシート』	○単元通しての学習に加えて、他学年からのアンケートの内容も振り返りの材料とする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>「京都にゆかりのある昔話」や「京ことば」についての理解や考えを深めたことから、京都や地域の一員としての自覚をもつとともに、京都にゆかりのある「言語文化」を大切にしようとしている。                      (「京都にゆかりのある昔話」と「京ことば」ふり返しシート)</p> </div>

6 板書計画

			・	・	・			
			・	・	・			
			・	・	・			

月 日 時間目  
「京都や地域で伝え続けたい昔話や京ことば」  
「京都や地域で伝え続けたい話や言葉」について発信したり、  
振り返ったりして、再発見したことは何だろう。

※子どもたちの一人一人のワークシート【全員分を掲示する。】